

県会議員 奥村のり子の
読者ニュース



2015年10月4日 第191号

—奥村のり子生活相談所—

〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11

☎ & FAX 073-427-7121

Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp

市駅前の街づくり「社会実験」に参加



9月12日、13日和歌山市駅前の片側道路を芝生化、歩行者天国にされ、屋台・売店の出店、内川ではハイブリット船の遊覧の企画などあり大賑わいでした。市駅地区商店街連盟と自治会、和歌山大学部の永瀬准教授のゼミの学生さん達で「市駅まちづくり実行会議」がつくられ、将来のまちのシミュレーションとして行われた社会実験です。私も小学校の同級生とお手伝いをさせていただきました。(写真)



上—小学校の仲間と。
下—ハイブリット船

国民連合政府実現へ頑張ります

先日、紀伊地区の後援会のみなさんや南畑市議が団地を訪問しました。私も参加させて頂き、「日本を『海外で戦争する国』にする戦争法(安保法制)の廃止を求めます」の請願署名のお願いに回りました。請願の趣旨は戦争法(安保法制)は政府・与党の「数の横暴」で成立させられたからといって、それを許したままにしておくことは絶対できません。戦争法は、日本国憲法に真つ向から背く違憲立法です。憲法9条を踏みこじり、自衛隊の海外での武力行使に道を開くものです。立憲主義、民主主義、法の支配というわが国の存立を土台から覆し、日本の平和と国民の命を危険にさらすような法律を一刻たりとも放置するわけにはいきません。こんな内容です。すぐに応じて下さる方がほとんどでした。日本共産党の国民連合政府の呼びかけについては「他の野党といっしょになるのは賛成できない」と心配顔でおっしゃって下さる方もあり「消費税増税などの問題では意見がちがっても、とにかく、戦争法を廃案するとういう、この一点で安倍政権を代える力を大きくしようと呼びかけています」と説明すると、「それなら安心してました」と言っていました。

なかには赤旗しんぶんの購読も引き受けて下さる方もあり、「安倍政権打倒」にむけてがんばって行きたいと思えます。(奥村のり子)

沖縄の声を国際世論へ訴え
新基地阻止へ全国から支援を

9月21日、沖縄の翁長雄志県知事は、スイス・ジュネーブの国連人権理事会で沖縄辺野古の米軍新基地建設に関し、「沖縄の人々の自己決定権や人権がないがしろにされている」ことを訴えました。▼沖縄の米軍基地は第2次世界大戦後、強制接収によって作られたこと：▼日本の面積の0.6%にすぎない沖縄に在日米軍専用基地面積の73.8%が集中し、基地から派生する事件・事故や環境問題が県民生活に大きな影響を与え続けている…ことなど沖縄の民意を国際世論に訴える意義ある行動でした。

1995年9月、沖縄で小学生の女児が米兵関係者ら3人に暴行され、同年10月に大規模な抗議集会が行なわれました。1972年本土復帰後、米軍関係者による犯罪は2014年までに6千件近い。これは判明した分で「泣き寝入り」も含めるとおびただしい数になると言われ、うち約1割は殺人や強盗、強姦で、米軍基地があるだけで惨い苦難を押し付けられている沖縄です。まさに鬼畜と言わなければならない。自公政権によるアメリカ言いなりの不公平な地位協定で厚遇され横暴を繰り返す、民意を無視し新基地建設をしゃにむに押し進めています。建設阻止へ翁長知事と県民の頑張りに加え本土の民衆の支援がますます重要です。(編集室)

50年間の週刊日誌—主なもの—

- 10月2日 市駅前・吉宗像前宣伝、韓国領事館お祝い、会議
- 3日 国労大会あいさつ、地域訪問
- 4日 自治会津波避難訓練、会議
- 5日 国体競技の観戦
- 6日 国体閉会式
- 7日 エフエム87.7
- 8日 無料生活相談 中村議員市政報告会 環境よくなる会

開じられた正門

9月18日夜の参議院本会議で、戦争法案を強行採決した鴻池委員長の問責決議案に賛成の討論を行なっていました。

その中で小林節・慶大名誉教授の言葉を紹介しました。小林さんは中央公聴会で、憲法九六条を変えて改憲のハードルを下げようとした安倍首相のやり方を「裏口入学」と厳しく批判したうえで、今回の戦争法案を「閉じられた正門を蹴破って押し入るようなもの」と断罪されました。

その表現を引用しながら、「どうしても集団的自衛権を行使したいなら、こそこそごまかしたり、姑息なへ理屈を並べたり、憲法を勝手に踏みこむのではなく、正々堂々と憲法改正を提案すべきだ」といっていました。終わってから本会議場を出るとき、鴻池さんが私に「いい討論だった。あ

問責決議の本人からお礼を言われたのは初めて



「9.14国会包囲大行動」で党代表で挨拶する大門さん。(手を上げている左端の人)

りがとう」と言いました。問責の賛成討論をして本人からお礼を言われたのは初めてです。

周りにいた自民党議員たちも「大門さん、よかったよ」とほめるので、徹夜の疲れで人の話が逆さまに聞こえるようになってしまったのかと思いました。

連休明けに会った同じ委員会に所属する自民党議員が解説してくれました。「参院自民党には安倍さんの『解釈改憲』というやり方に疑問を持つ人が多い。あのとき大門さんに単独だと叱られ、もつと堂々として言われてしびれたんだよ」と。

本気でそう思ったなら、安倍首相の暴走を参議院で止めるべきだった。止められなかった責任はつぎの参議院選挙で自分たちが取ることになるのだから。

参議院議員
大門みきし

